

「しおかぜ自然環境調査で実施した観察会の概要について」

◆生物多様性センターでは、平成27年8月から11月に計6回、東北地方太平洋沿岸地域を中心とする震災の影響を受けた地域において観察会形式の「しおかぜ自然環境調査」を実施しました。観察会一覧を表1に、観察会開催地を図1に示すとともに、各回の様子を以下にまとめました。

表1 観察会一覧

項目			季節・回					
			夏季		秋季			
			1	2	3	4	5	6
1	日にち		8月22日(土)	8月30日(日)	9月26日(土)	10月7日(水)	11月3日(火祝)	11月7日(土)
2	時間		9時～12時半	11時～16時	9時～11時 20分	10時～13時	9時～12時	11時15分～ 16時
3	場所		福島県相馬市 ／松川浦	宮城県仙台市 ／井土浦・藤塚 周辺	宮城県仙台市 ／井土浦・藤塚 周辺	宮城県石巻市 ／牡鹿半島祝 浜	宮城県仙台市 ／新浜・荒浜	青森県八戸市 ／種差海岸
4	環境		砂浜、干潟	湿地、草地	湿地、草地、マ ツ林	砂浜、草地、樹 林	砂浜	礫浜、砂浜、草 地、マツ林
5	内容		干潟の植物・昆 虫類調査	海辺の昆虫類 調査	海岸の動植物 調査	海岸の動植物 調査	海岸の動植物 調査	海岸の動植物 調査
6	観察 した 種	分類 群	鳥類、昆虫類、 その他無脊椎 動物、植物	鳥類、昆虫類、 植物	昆虫、魚類、底 生動物、植物	哺乳類、鳥類、 昆虫類、魚類、 甲殻類、植物	鳥類、昆虫類、 植物	鳥類、昆虫類、 貝類、クモ類、 植物
		しお かぜ 対象 種	ツバメ、ノス リ、アシハラガ ニ、アサリ、ハ マエンドウ、ハ マヒルガオ	ハマヒルガオ	ハマエンドウ、 ハマヒルガオ、 アシハラガニ	ニホンジカ、ノ スリ、ハマヒル ガオ	ノスリ、キジ、 ハマエンドウ、 ハマヒルガオ	ハマヒルガオ、 ハマエンドウ
7	連携した団 体		はげっこ倶楽 部（福島県相馬 市）	双翅目談話会 （大阪府）、宮 城昆虫地理研 究会（宮城県）	せんだい生態 系再生コンソ ーシアム（宮城 県仙台市）	おしかリンク （宮城県石巻 市）	国土交通省仙 台河川国道事 務所、新浜町内 会、緑を守り育 てる宮城県連 絡会議、南蒲生 ／砂浜海岸エコ トーンモニタ リングネット ワーク（宮城県 仙台市）	NPO 法 人 ACTY（青森県 八戸市）
8	講師 (所属・専門) ※敬称略		三田村敏正（福 島虫の会・昆虫 類）、浜田拓（株 地 域 環 境 計 画・植物）	斉藤雄二（宮城 県昆虫地理研 究会・昆虫類）	五十嵐由里（宮 城県昆虫地理 研究会・昆虫 類）、鈴木孝男 （東北大学・底 生動物）、平吹 喜彦（東北学院 大学・植物）	中武禎典（株地 域環境計画・植 物）	石川淳一（国土 交通省仙台海 川国道事務所）、瀬戸勲・ 遠藤源一郎（新 浜町内会）、平 吹喜彦（東北学 院大学・植物）	高橋晃（青森県 立百石高校・植 物）
9	参加者数		26名	13名	18名	11名	10名	8名
10	参加者の内 訳		子ども4名 大人22名	大人13名	子ども4名 大人14名	大人11名	子ども1名 大人9名	大人8名



図 1 観察会開催地

◆今回の調査では、しおかぜ自然環境調査の調査対象種 20 種のうち、ニホンジカ、キジ、ツバメ、ノスリ、アシハラガニ、アサリ、ハマエンドウ、ハマヒルガオの 8 種が確認できました。各観察会の確認状況は表 2 に示すとおりです。

表 2 対象種の確認状況

調査回	哺乳類			鳥類			爬虫・両生類				昆虫類				その他 無脊椎動物			植物		
	イノシシ	ニホンジカ	ハクビシン	キジ	ツバメ	ノスリ	ニホンカナヘビ	アオダイショウ	アカハライモリ	ニホンアマガエル	アキアカネ	ハラビロカマキリ	ツマグロヒョウモン	アカボシゴマダラ大陸亜種	ハマダンゴムシ	アシハラガニ	アサリ	ハマエンドウ	ハマボッス	ハマヒルガオ
1					●	●										●	●	●		●
2																				●
3																●		●		●
4		●				●														●
5				●		●												●		●
6																		●		●

◆第1回観察会

- 開催地：福島県相馬市松川浦
- 開催日：2015年8月22日（土） 天気：曇り
- 松川浦やその周辺で活動されている環境保護団体「はぜっ子倶楽部」の方々と、水辺や草地の周辺で昆虫類、植物などを調査し、鳥類4種、昆虫類14種、その他無脊椎動物2種、植物12種の合計32種の動植物を観察しました。
- 参加者からは、「震災後、なかなか見に来る機会がなかったので、震災前後の自然の変化に驚いた」、「アサリやカニ、トンボなど、色々な生きものが観察できて楽しかった」、「およそ50年ぶりに松川浦で確認された貴重なウミドリを見られて良かった」との感想が聞かれました。
- 観察した生物を表3に、観察会の様子を以下に示します。

表3 観察した生物（福島県相馬市松川浦）

分類	No.	種名	合計
鳥類	1	ウミネコ	4 種
	2	ノスリ★	
	3	ツバメ★	
	4	セッカ	
昆虫類	1	ムスジイトトンボ	14 種
	2	アジイトトンボ	
	3	アオモンイトトンボ	
	4	ギンヤンマ	
	5	シオカラトンボ	
	6	ウスバキトンボ	
	7	ショウリョウバッタ	
	8	オオハサミムシ	
	9	ヒメゲンゴロウ	
	10	ハイイロゲンゴロウ	
	11	ヒメガムシ	
	12	ハマベコムシヒキ	
	13	キタキチョウ	
	14	モンシロチョウ	
その他の無脊椎動物	1	アシハラガニ★	2 種
	2	アサリ★	
植物	1	マルバアカザ	12 種
	2	ハマエンドウ★	
	3	メマツヨイグサ	
	4	ウミミドリ	
	5	ハマサジ	
	6	ハマヒルガオ★	
	7	セイタカアワダチソウ	
	8	ハチジョウナ	
	9	オオシバナ	
	10	カワツルモ	
	11	アイアシ	
	12	イガガヤツリ	
合計 32 種			

表中の★は、しおかぜ自然環境調査の調査対象種です。



現地の様子



水生昆虫の観察



ハマヒルガオの観察



水生昆虫の観察



ウミミドリの観察



ハマエンドウ



ハマヒルガオ



いきものログ操作の解説

◆第2回観察会

- ・開催地：宮城県仙台市井土浦・藤塚
- ・開催日：2015年8月30日（日） 天気：雨
- ・宮城県昆虫地理研究会の斎藤氏を講師に招き、双翅目談話会会員の方々と、草地や干潟周辺で動植物を調査し、鳥類2種、昆虫類1種、植物7種の合計10種を観察しました。当日は雨天であったため、観察できた生物種は少数にとどまりましたが、講師から震災前後の環境や生物相の変化など、貴重なお話を聞くことができました。
- ・参加者からは、「現地ならではのお話も聞けて、大変勉強になった」、「津波被災地も目の当たりにして、改めて自然の驚異の凄さを実感した」などの感想が寄せられました。
- ・観察した生物を表4に、観察会の様子を以下に示します。

表4 観察した生物（宮城県仙台市井土浦・藤塚）

分類	No.	種名	合計
鳥類	1	ミサゴ	2 種
	2	チョウゲンボウ	
昆虫類	1	ルリシジミ	1 種
植物	1	クロマツ	7 種
	2	ヤブツルアズキ	
	3	メマツヨイグサ	
	4	ハマヒルガオ★	
	5	アイアシ	
	6	オオクグ	
	7	シオクグ	
合計 10 種			

表中の★は、しおかぜ自然環境調査の調査対象種です。



集合時の様子



集合時の様子



現地の解説



ヤブツルアズキ



いきものログウェブサイトの紹介



◆第3回観察会

- ・開催地：宮城県仙台市井土浦・藤塚

- ・開催日：2015年9月26日（土） 天気：雨のち曇り

- ・仙台市の海浜部で活動されている団体「せんだい生態系再生コンソーシアム」の方々や、参加者の方々と、湿地では底生動物（その他無脊椎動物）を、草地では昆虫類、植物などを調査し、昆虫類 13 種、魚類 3 種、その他無脊椎動物 17 種、植物 10 種の合計 43 種の動植物を観察しました。

- ・参加者からは、「津波の後、初めて来たがこんなに生きものが復活しているとは思わなかった」、「こんなに多くの生きものがいるとは思わなかった。防潮堤が生態系に与える影響を考えさせられた」、「津波で大きな被害を受けた場所でも自然は自らの力で再生していることに感動した。身近なところにこのような素晴らしい自然があることを大切にしていきたいと思った」、「底生生物を中心に见ようと思って来たが、一番印象に残ったのは若い松の木。枯れた木の元に青々とした若い松を見たら、ちゃんとつながっているんだと、感動し涙が出た」など、津波の被害を受けた場所に生物が戻ってきていること、生態系が再生していることを実際に見て感動した、という感想が多く寄せられました。

- ・観察した生物を表 5 に、観察会の様子を以下に示します。

表5 観察した生物（宮城県仙台市井土浦・藤塚）

分類	No.	種名	合計
昆虫	1	アオイトトンボ	13 種
	2	アオモンイトトンボ	
	3	ウスバキトンボ	
	4	コオロギ科の一種	
	5	ショウリョウバッタ	
	6	クルマバッタモドキ	
	7	イナゴ科の一種	
	8	オンブバッタ	
	9	イチモンジセセリ	
	10	ホソセスジゲンゴロウ	
	11	ヒメゲンゴロウ	
	12	キベリヒラタガムシ	
	13	ヒメガムシ	
魚類	1	ドジョウ	3 種
	2	ビリンゴ	
	3	マハゼ	
その他の 無脊椎動物	1	ヒラドカワザンショウ	17 種
	2	カワザンショウガイ	
	3	マガキ	
	4	イソシジミ	
	5	ソトオリガイ	
	6	ヤマトカワゴカイ	
	7	シロスジフジツボ	
	8	ヒメハマトビムシ	
	9	イサザアミ	
	10	アリアケモドキ	
	11	チゴガニ	
	12	コメツキガニ	
	13	ヤマトオサガニ	
	14	アカテガニ	
	15	アシハラガニ★	
	16	モクズガニ	
	17	ケフサイソガニ	
植物	1	クロマツ	10 種
	2	ノイバラ	
	3	ハマエンドウ★	
	4	ハマヒルガオ★	
	5	スイカズラ	
	6	セイタカアワダチソウ	
	7	アイアシ	
	8	ヨシ	
	9	コウボウシバ	
	10	シオクグ	
合計 43 種			

表中の★は、しおかぜ自然環境調査の調査対象種です。

その他の無脊椎動物は、種まで同定できたものを掲載しています。



現地の様子（ドローンで撮影）



集合時の様子



底生動物の観察



底生動物の採集



観察位置のマッピング



ヤマトオサガニなど



いきものログの紹介



集合写真

◆第4回観察会

- ・開催地：宮城県石巻市牡鹿半島祝浜 天気：曇り
- ・開催日：2015年10月7日（水）
- ・牡鹿半島で活動されている地域づくり団体「おしかリンク」と関連団体・個人の方々と、草地、樹林、小河川において、魚類、底生動物、植物などを調査し、哺乳類2種、鳥類、昆虫類、魚類、その他の無脊椎動物が各1種、植物20種の合計26種の動植物を観察しました。
- ・参加者からは、「意外と沢山の生物がいることに驚いた」、「いつも見ている植物でも種名は初めて知ったので勉強になった」、「シカ対策が重要であると感じた」などの感想が寄せられました。
- ・観察した生物を表6に、観察会の様子を以下に示します。

表6 観察した生物（宮城県石巻市祝浜）

分類	No.	種名	合計
哺乳類	1	ニホンリス（食痕）	2種
	2	ニホンジカ★（糞）	
鳥類	1	ノスリ★	1種
昆虫類	1	コクワガタ	1種
魚類	1	スミウキゴリ	1種
その他の無脊椎動物	1	モクズガニ	1種
植物	1	モミ	20種
	2	クロマツ	
	3	スギ	
	4	ケヤキ	
	5	ヤブマメ	
	6	タラノキ	
	7	カキノキ	
	8	マメガキ	
	9	ハマヒルガオ★	
	10	ムラサキシキブ	
	11	チリメンジソ	
	12	チョウセンアサガオ	
	13	アメリカオニアザミ	
	14	アザミ属の一種	
	15	キクイモ	
	16	ススキ	
	17	チカラシバ	
	18	キンエノコロ	
	19	テンナンショウ属の一種	
	20	ベニバナボロギク	
合計 26種			

表中の★は、しおかぜ自然環境調査の調査対象種です。



現地の様子



観察会の様子



水生生物採集



現地に設置されているシカ侵入防止柵



ニホンジカの糞



ニホンリスの食痕



モクズガニ



ベニバナボロギク（ニホンジカの不嗜好性植物）

◆第5回観察会

- ・開催地：宮城県仙台市新浜・荒浜
- ・開催日：2015年11月3日（火・祝） 天気：晴れ
- ・地元にお住まいの新浜町内会の瀬戸氏、南蒲生地区で活動されている平吹氏、防潮堤工事に携わられた石川氏を講師に招き、参加者の方々と砂浜海岸の植物を中心に、鳥類2種、昆虫類1種、植物9種の合計12種の動植物を観察しました。
- ・講師の方々からは、震災前後の砂浜海岸の様子や、防潮堤工事の際におこなった環境配慮事項など、貴重なお話があったほか、観察会後には砂浜の清掃活動をおこないました。
- ・参加者からは、「自分が住んでいる七郷・荒浜地域の自然が思っている以上に多く、ごみ拾いで環境に貢献できたのが良かった」、「震災前後の様子とそこに暮らしている生きものを知ることできた」、「内陸から海への全てが続いていることが改めて理解できた」などの感想が寄せられました。
- ・観察した生物を表7に、観察会の様子を以下に示します。

表7 観察した生物（宮城県仙台市新浜荒浜）

分類	No.	種名	合計
鳥類	1	ノスリ★	2 種
	2	キジ★（鳴き声）	
昆虫類	1	ナナホシテントウ	1 種
植物	1	オニハマダイコン	9 種
	2	ハマナス	
	3	ハマエンドウ★	
	4	コマツヨイグサ	
	5	ハマボウフウ	
	6	ハマヒルガオ★	
	7	ハマニガナ	
	8	テンキグサ	
	9	ケカモノハシ	
合計 12 種			

表中の★は、しおかぜ自然環境調査の調査対象種です。



現地の様子



植物の観察



植物の解説



環境配慮事項の解説



地元の方からの説明



ハマナス



清掃活動



収集したゴミ

◆第 6 回観察会

- 開催地：青森県八戸市種差海岸（大須賀～種差インフォメーションセンター前）
- 開催日：2015 年 11 月 7 日（土） 天気：曇り
- 種差海岸やその周辺で植物の観察・研究をされている高橋氏を講師に招き、参加者の方々と砂浜海岸の植物を中心に、哺乳類 1 種、鳥類 3 種、昆虫類 1 種、その他の無脊椎動物 2 種、植物 36 種の合計 43 種の動植物を観察したほか、鳴き砂など貴重な体験もしました。
- 野外での観察後は、種差海岸インフォメーションセンターの施設をお借りして、観察した生物の復習や、いきものログの説明をおこないました。
- 参加者からは、「植物についてだけでなく、様々な文化の解説とともに包括的な学習をすることができて楽しかった」、「植物に関して大変興味深いお話が聞けて良かった」、「先生からの浜辺の植物についての講義にとっても刺激を受けた」などの感想が寄せられました。
- 観察した生物を表 8 に、観察会の様子を以下に示します。

表 8 観察した生物（青森県八戸市種差海岸）

分類	No.	種名	合計
哺乳類	1	モグラ（掘り返し）	1 種
鳥類	1	ウミウ	3 種
	2	ウミネコ	
	3	セグロカモメ	
昆虫類	1	ハマナスメトゲコブタマバチ	1 種
その他の無脊椎動物	1	ツメタガイ	2 種
	2	イソコモリグモ	
植物	1	クロマツ	36 種
	2	ハインズ	
	3	ハマハイビャクシン	
	4	オニハマダイコン	
	5	アオノイワレンゲ	
	6	キリンソウ	
	7	ハマナス	
	8	モミジイチゴ	
	9	ハマエンドウ★	
	10	ツルウメモドキ	
	11	エソノヨロイグサ	
	12	エソノシシウド	
	13	ハマボウフウ	
	14	マルバトウキ	
	15	ハマヒルガオ★	
	16	スナビキソウ	
	17	ウンラン	
	18	オオバコ	
	19	シロヨモギ	
	20	シラヤマギク	
	21	オオガクビソウ	
	22	オオノアザミ	
	23	コハマギク	
	24	チチコグサ	
	25	ハマニガナ	
	26	センボンヤリ	
	27	ハマギク	
	28	ハチノヘトウヒレン	
	29	アキノキリンソウ	
	30	ハチジョウナ	
	31	オオウバユリ	
	32	シュロソウ	
	33	ケカモノハシ	
	34	ミヤコザサ	
	35	オニシバ	
	36	コウボウムギ	
合計 43 種			

表中の★は、しおかぜ自然環境調査の調査対象種です。



現地の様子



観察会の様子



観察会の様子



観察会の様子



ハマハイビャクシン



コハマギク



ハインズ



室内での復習